

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 長野県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	長野県立病院機構	2
長野市	長野市民病院	3
松本市	松本市立病院	4
上田市	上田市立産婦人科病院	5
岡谷市	岡谷市民病院	6
飯田市	飯田市立病院	7
大町市	大町総合病院	8
佐久市	国保浅間総合病院	9
東御市	東御市民病院	10
佐久穂町	佐久穂町立千曲病院	11
軽井沢町	国保軽井沢病院	12
辰野町	辰野病院	13
信濃町	信越病院	14
飯綱町	飯綱町立飯綱病院	15
伊那中央行政組合（事業 会計分）	伊那中央病院	16
伊南行政組合	昭和伊南総合病院	17
諏訪中央病院組合	組合立諏訪中央病院	18
依田窪医療福祉事務組合	国保依田窪病院	19

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>		都道府県名	長野県
		市町村・組合名	
		病院名	長野県立病院機構
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,098,804	
決算規模(千円)	839,209,530	
標準財政規模(千円)	507,711,192	
財政力指数	0.52486	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	170.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	296,266			
1 経常収益	296,266			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	296,266			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	296,266			
2 経常費用	296,266			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	296,266			
(うち支払利息)	296,266	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	長野市
	病院名	長野市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	377,598	
決算規模(千円)	163,662,918	
標準財政規模(千円)	87,609,247	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.8
	将来負担比率(%)	50.7

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上~500床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	227,989			
1 経常収益	227,989			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	227,989			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	227,989			
2 経常費用	227,989			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	-	-	9.0	7.9
経費	-	-	23.3	19.2
(うち委託料)	-	-	11.5	9.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	227,989			
(うち支払利息)	227,989	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.1

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	松本市
				病院名	松本市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,999 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ輪		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	193	87.8	78.2	72.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	3.1	-	-
計	199	85.3	76.0	70.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	14.7	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	243,293	
決算規模(千円)	92,315,505	
標準財政規模(千円)	56,742,662	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	84.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,245,094			
1 経常収益	5,237,139			
(1) 医業収益	4,649,401			
入院収益	2,596,346			
外来収益	1,527,956			
診療収入計	4,124,302			
その他医業収益	525,099			
(うち他会計負担金)	87,352			
(2) 医業外収益	587,738			
(うち国・都道府県補助金)	11,758			
(うち他会計補助・負担金)	350,347			
(うち長期前受金戻入)	143,168			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,955			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,215,398			
2 経常費用	5,161,640			
(1) 医業費用	4,979,346			
職員給与費	2,777,469	59.7	55.7	61.3
材料費	785,537	16.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	443,332	9.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	302,110	6.5	11.0	8.2
減価償却費	214,076	4.6	9.0	10.2
経費	1,139,757	24.5	23.3	30.5
(うち委託料)	307,607	6.6	11.5	13.0
研究研修費	16,031			
資産減耗費	46,476			
(2) 医業外費用	182,294			
(うち支払利息)	30,752	0.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	53,758			
損益				
経常損益	75,499			
純損益	29,696			
累積欠損金	559,661			
経常収支比率	101.5		97.7	96.5
医業収支比率	93.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	93.0		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,976,348
1 固定資産	3,916,564
(1) 有形固定資産	3,907,924
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	8,640
2 流動資産	2,059,784
(1) 現金及び預金	1,366,232
(2) 未収金及び未収収益	679,502
(3) 貸倒引当金( )	2,780
(4) 貯蔵品	16,830
3 繰延資産	-
負債合計	4,986,308
1 固定負債	2,867,028
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,844,128
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,022,900
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,167,245
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	335,248
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	221,910
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	598,188
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	952,035
(1) 長期前受金	1,604,688
(2) 長期前受金収益化累計額( )	652,653
資本合計	990,040
1 資本金	1,263,614
2 剰余金	-273,574
(1) 資本剰余金	12,497
(2) 利益剰余金	-286,071
負債・資本合計	5,976,348
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.6
修正医業収益(千円)	4,562,049

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	575,989	437,699
資本勘定繰入	174,893	174,893
計	750,882	612,592

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	上田市
				病院名	上田市立産婦人科病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,033 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	1	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	27	40.8	47.5	63.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	27	40.8	47.5	63.5
平均在院日数(一般病床のみ)		5.4	5.3	5.6

設立団体の状況		
人口(人)	156,827	
決算規模(千円)	69,265,171	
標準財政規模(千円)	39,792,241	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	28.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.6
修正医業収益(千円)	314,220

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	456,295			
1 経常収益	456,295			
(1) 医業収益	314,220			
入院収益	220,159			
外来収益	75,028			
診療収入計	295,187			
その他医業収益	19,033			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	142,075			
(うち国・都道府県補助金)	1,093			
(うち他会計補助・負担金)	97,347			
(うち長期前受金戻入)	37,759			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	549,674			
2 経常費用	549,674			
(1) 医業費用	536,259			
職員給与費	260,169	82.8	55.7	80.8
材料費	22,159	7.1	24.7	13.8
(うち薬品費)	4,734	1.5	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,751	4.4	11.0	4.9
減価償却費	56,540	18.0	9.0	12.9
経費	196,161	62.4	23.3	47.4
(うち委託料)	47,747	15.2	11.5	20.7
研究研修費	1,101			
資産減耗費	129			
(2) 医業外費用	13,415			
(うち支払利息)	3,161	1.0	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-93,379			
純損益	-93,379			
累積欠損金	117,723			
経常収支比率	83.0		97.7	96.7
医業収支比率	58.6		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	21.3		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	31.0		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	21.3		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	65.3		85.7	64.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,056,896
1 固定資産	899,457
(1) 有形固定資産	899,386
(2) 無形固定資産	71
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	157,439
(1) 現金及び預金	124,197
(2) 未収金及び未収収益	32,182
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	1,060
3 繰延資産	-
負債合計	900,129
1 固定負債	202,974
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	198,266
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,708
(7) リース債務	-
2 流動負債	62,858
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,529
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,529
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,800
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	634,297
(1) 長期前受金	1,003,067
(2) 長期前受金収益化累計額( )	368,770
資本合計	156,767
1 資本金	155,213
2 剰余金	1,554
(1) 資本剰余金	66,076
(2) 利益剰余金	-64,522
負債・資本合計	1,056,896
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,035	97,347
資本勘定繰入	8,349	8,349
計	13,384	105,696

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	岡谷市
				病院名	岡谷市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,157 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感 輪		
診療科数	26	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	266	84.9	84.0	83.6
療養	25	71.9	84.1	83.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	13.9	9.5	11.7
計	295	82.8	83.0	82.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	20.4	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	50,128	
決算規模(千円)	19,362,435	
標準財政規模(千円)	11,750,683	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	76.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.6
修正医業収益(千円)	6,117,150

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,870,684			
1 経常収益	6,865,192			
(1) 医業収益	6,237,150			
入院収益	3,810,220			
外来収益	1,886,572			
診療収入計	5,696,792			
その他医業収益	540,358			
(うち他会計負担金)	120,000			
(2) 医業外収益	628,042			
(うち国・都道府県補助金)	10,426			
(うち他会計補助・負担金)	194,000			
(うち長期前受金戻入)	309,716			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,492			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,991,790			
2 経常費用	6,924,950			
(1) 医業費用	6,602,596			
職員給与費	3,995,221	64.1	55.7	59.8
材料費	1,168,709	18.7	24.7	19.0
(うち薬品費)	670,737	10.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	443,445	7.1	11.0	9.2
減価償却費	492,088	7.9	9.0	9.9
経費	928,625	14.9	23.3	27.7
(うち委託料)	585,998	9.4	11.5	12.4
研究研修費	16,011			
資産減耗費	1,942			
(2) 医業外費用	322,354			
(うち支払利息)	40,560	0.7	1.4	1.5
(3) 特別損失	66,840			
損益				
経常損益	-59,758			
純損益	-121,106			
累積欠損金	2,705,762			
経常収支比率	99.1		97.7	96.3
医業収支比率	94.5		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	94.6		85.7	83.5

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,617,822
1 固定資産	10,478,893
(1) 有形固定資産	10,030,547
(2) 無形固定資産	3,360
(3) 投資その他の資産	444,986
2 流動資産	1,138,929
(1) 現金及び預金	220,142
(2) 未収金及び未収収益	895,835
(3) 貸倒引当金( )	1,000
(4) 貯蔵品	21,096
3 繰延資産	-
負債合計	13,066,548
1 固定負債	9,256,357
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,264,719
(2) その他の企業債	258,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,705,934
(7) リース債務	27,004
2 流動負債	1,231,472
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	649,833
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	250,211
(6) リース債務	7,698
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	296,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,578,719
(1) 長期前受金	3,755,748
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,177,029
資本合計	-1,448,726
1 資本金	1,226,920
2 剰余金	-2,675,646
(1) 資本金剰余金	30,116
(2) 利益剰余金	-2,705,762
負債・資本合計	11,617,822
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	1,448,726
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	821,845	314,000
資本勘定繰入	176,550	174,000
計	998,395	488,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	飯田市
				病院名	飯田市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,376 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	32	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	419	83.0	82.4	80.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	423	82.2	81.6	80.0
平均在院日数（一般病床のみ）		11.0	11.0	10.5

設立団体の状況		
人口（人）	101,581	
決算規模（千円）	45,878,653	
標準財政規模（千円）	26,888,854	
財政力指数	0.54	
経常収支比率（%）	88.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.4
	将来負担比率（%）	26.6

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,469,800			
1 経常収益	13,469,800			
(1) 医業収益	12,607,284			
入院収益	8,472,062			
外来収益	3,385,462			
診療収入計	11,857,524			
その他医業収益	749,760			
(うち他会計負担金)	243,612			
(2) 医業外収益	862,516			
(うち国・都道府県補助金)	44,543			
(うち他会計補助・負担金)	631,320			
(うち長期前受金戻入)	35,595			
(うち資本費繰入収益)	59,400			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,462,221			
2 経常費用	13,462,221			
(1) 医業費用	12,935,468			
職員給与費	7,015,926	55.6	55.7	54.0
材料費	2,922,539	23.2	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,455,500	11.5	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,383,300	11.0	11.0	12.2
減価償却費	896,287	7.1	9.0	7.9
経費	2,026,374	16.1	23.3	19.2
(うち委託料)	900,154	7.1	11.5	9.3
研究研修費	54,292			
資産減耗費	20,050			
(2) 医業外費用	526,753			
(うち支払利息)	54,463	0.4	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	7,579			
純損益	7,579			
累積欠損金	509,065			
経常収支比率	100.1		97.7	98.8
医業収支比率	97.5		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	6.9		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	6.5		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	93.6		85.7	89.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	20,968,916
1 固定資産	15,575,846
(1) 有形固定資産	14,955,591
(2) 無形固定資産	222,329
(3) 投資その他の資産	397,926
2 流動資産	5,393,070
(1) 現金及び預金	3,464,193
(2) 未収金及び未収収益	1,894,910
(3) 貸倒引当金（ ）	2,217
(4) 貯蔵品	36,184
3 繰延資産	-
負債合計	11,618,385
1 固定負債	8,749,733
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,214,071
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,603,220
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,932,442
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,428,124
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,004,839
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	452,344
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	967,472
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	440,528
(1) 長期前受金	978,187
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	537,659
資本合計	9,350,531
1 資本金	9,840,971
2 剰余金	-490,440
(1) 資本金剰余金	18,625
(2) 利益剰余金	-509,065
負債・資本合計	20,968,916
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	95.6
修正医業収益（千円）	12,363,672

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	874,932	874,932
資本勘定繰入	682,895	485,676
計	1,557,827	1,360,608

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	4.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費（経常的経費）に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、  
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
 占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況 (令和元年度)</b>	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	大田市
	病院名	大町総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,380 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
診療科数	12	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	147	87.9	79.0	58.4
療養	48	93.8	87.8	76.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.1	-	-
計	199	87.6	79.6	61.6
平均在院日数（一般病床のみ）		11.0	11.2	12.7

設立団体の状況		
人口（人）	28,041	
決算規模（千円）	16,992,492	
標準財政規模（千円）	10,126,191	
財政力指数	0.44	
経常収支比率（%）	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.1
	将来負担比率（%）	48.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.6
修正医業収益（千円）	4,115,465

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,979,299			
1 経常収益	4,966,363			
(1) 医業収益	4,222,053			
入院収益	2,405,512			
外来収益	1,261,260			
診療収入計	3,666,772			
その他医業収益	555,281			
(うち他会計負担金)	106,588			
(2) 医業外収益	744,310			
(うち国・都道府県補助金)	32,930			
(うち他会計補助・負担金)	468,220			
(うち長期前受金戻入)	219,016			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,936			
(うち他会計繰入金)	3,184			
総費用	4,694,062			
2 経常費用	4,690,726			
(1) 医業費用	4,493,684			
職員給与費	2,693,244	63.8	55.7	61.3
材料費	590,867	14.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	331,043	7.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	215,062	5.1	11.0	8.2
減価償却費	342,855	8.1	9.0	10.2
経費	815,661	19.3	23.3	30.5
(うち委託料)	271,963	6.4	11.5	13.0
研究研修費	44,127			
資産減耗費	6,930			
(2) 医業外費用	197,042			
(うち支払利息)	77,545	1.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	3,336			
損益				
経常損益	275,637			
純損益	285,237			
累積欠損金	2,193,715			
経常収支比率	105.9		97.7	96.5
医業収支比率	94.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	11.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	93.6		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,803,627
1 固定資産	5,674,761
(1) 有形固定資産	5,123,607
(2) 無形固定資産	53,376
(3) 投資その他の資産	497,778
2 流動資産	1,128,866
(1) 現金及び預金	344,825
(2) 未収金及び未収収益	767,910
(3) 貸倒引当金（ ）	1,595
(4) 貯蔵品	17,715
3 繰延資産	-
負債合計	7,737,554
1 固定負債	4,018,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,368,456
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	479,000
(6) 引当金	1,162,323
(7) リース債務	9,141
2 流動負債	2,021,279
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	519,751
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	143,625
(6) リース債務	3,951
(7) 一時借入金	900,000
(8) 未払金及び未払費用	431,737
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,697,355
(1) 長期前受金	5,217,623
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	3,520,268
資本合計	-933,927
1 資本金	691,217
2 剰余金	-1,625,144
(1) 資本剰余金	568,571
(2) 利益剰余金	-2,193,715
負債・資本合計	6,803,627
不良債務	372,662
実質資金不足額	372,662
資本不足額（ ）	933,927
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	648,797	577,992
資本勘定繰入	312,897	504,192
計	961,694	1,082,184

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	372,662	8.8
平成30年度	757,202	18.2
平成29年度	902,746	23.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	52.0
健全化法上の資金不足額（千円）	372,662
健全化法上の資金不足比率（%）	8.8
地財法上の資金不足額（千円）	372,662
地財法上の資金不足比率（%）	8.8

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	佐久市
				病院名	国保浅間総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,948 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	17	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	238	81.3	81.8	84.1
療養	40	65.3	70.0	36.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	278	79.0	80.1	72.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	12.9	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	99,368	
決算規模(千円)	48,499,248	
標準財政規模(千円)	27,532,846	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	81.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.3
修正医業収益(千円)	6,265,285

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,348,865			
1 経常収益	7,348,816			
(1) 医業収益	6,482,839			
入院収益	3,883,116			
外来収益	1,995,738			
診療収入計	5,878,854			
その他医業収益	603,985			
(うち他会計負担金)	217,554			
(2) 医業外収益	865,977			
(うち国・都道府県補助金)	13,913			
(うち他会計補助・負担金)	309,390			
(うち長期前受金戻入)	325,011			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,456,127			
2 経常費用	7,453,924			
(1) 医業費用	7,177,374			
職員給与費	4,221,981	65.1	55.7	59.8
材料費	1,147,063	17.7	24.7	19.0
(うち薬品費)	373,191	5.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	766,708	11.8	11.0	9.2
減価償却費	577,428	8.9	9.0	9.9
経費	1,206,441	18.6	23.3	27.7
(うち委託料)	524,462	8.1	11.5	12.4
研究研修費	15,486			
資産減耗費	8,975			
(2) 医業外費用	276,550			
(うち支払利息)	67,118	1.0	1.4	1.5
(3) 特別損失	2,203			
損益				
経常損益	-105,108			
純損益	-107,262			
累積欠損金	957,463			
経常収支比率	98.6		97.7	96.3
医業収支比率	90.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	91.5		85.7	83.5

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,218,909
1 固定資産	7,596,744
(1) 有形固定資産	7,579,931
(2) 無形固定資産	2,813
(3) 投資その他の資産	14,000
2 流動資産	2,622,165
(1) 現金及び預金	1,577,333
(2) 未収金及び未収収益	1,023,380
(3) 貸倒引当金( )	5,588
(4) 貯蔵品	22,640
3 繰延資産	-
負債合計	9,921,327
1 固定負債	6,983,990
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,900,625
(2) その他の企業債	11,629
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,054,306
(7) リース債務	17,430
2 流動負債	1,192,560
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	437,927
(2) その他の企業債	1,276
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	240,971
(6) リース債務	19,323
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	452,516
(9) 前受金及び前受収益	320
3 繰延収益	1,744,777
(1) 長期前受金	5,244,521
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,499,744
資本合計	297,582
1 資本金	1,140,604
2 剰余金	-843,022
(1) 資本金剰余金	114,441
(2) 利益剰余金	-957,463
負債・資本合計	10,218,909
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	526,944	526,944
資本勘定繰入	280,783	269,934
計	807,727	796,878

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	東御市
				病院名	東御市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,858 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	79.5	76.9	71.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	79.5	76.9	71.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	15.8	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	30,107	
決算規模(千円)	16,539,385	
標準財政規模(千円)	8,855,362	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	70.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.4
修正医業収益(千円)	1,502,584

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,894,881			
1 経常収益	1,894,881			
(1) 医業収益	1,540,925			
入院収益	560,805			
外来収益	747,917			
診療収入計	1,308,722			
その他医業収益	232,203			
(うち他会計負担金)	38,341			
(2) 医業外収益	353,956			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	298,812			
(うち長期前受金戻入)	433			
(うち資本費繰入収益)	41,873			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,850,667			
2 経常費用	1,850,667			
(1) 医業費用	1,781,027			
職員給与費	1,033,772	67.1	55.7	72.6
材料費	226,033	14.7	24.7	15.8
(うち薬品費)	122,882	8.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	91,067	5.9	11.0	5.6
減価償却費	147,136	9.5	9.0	11.1
経費	363,489	23.6	23.3	31.9
(うち委託料)	208,006	13.5	11.5	13.0
研究研修費	4,058			
資産減耗費	6,539			
(2) 医業外費用	69,640			
(うち支払利息)	17,659	1.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	44,214			
純損益	44,214			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.4		97.7	97.4
医業収支比率	86.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	17.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	21.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	17.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	84.2		85.7	74.2

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,717,220
1 固定資産	2,424,465
(1) 有形固定資産	2,424,194
(2) 無形固定資産	271
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	292,755
(1) 現金及び預金	48,535
(2) 未収金及び未収収益	195,586
(3) 貸倒引当金( )	1,000
(4) 貯蔵品	26,478
3 繰延資産	-
負債合計	1,604,941
1 固定負債	1,263,895
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,263,895
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	339,291
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	187,001
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,330
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	30,000
(8) 未払金及び未払費用	70,960
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,755
(1) 長期前受金	2,780
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,025
資本合計	1,112,279
1 資本金	925,743
2 剰余金	186,536
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	186,536
負債・資本合計	2,717,220
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	177,153	337,153
資本勘定繰入	41,873	41,873
計	219,026	379,026

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	佐久穂町
				病院名	佐久穂町立千曲病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,183 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	52	82.9	82.7	82.4
療養	45	80.6	87.8	91.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	81.8	85.1	86.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	12.1	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	11,186	
決算規模(千円)	9,468,103	
標準財政規模(千円)	5,308,215	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.8
修正医業収益(千円)	1,263,715

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,578,538			
1 経常収益	1,578,538			
(1) 医業収益	1,327,570			
入院収益	770,748			
外来収益	306,334			
診療収入計	1,077,082			
その他医業収益	250,488			
(うち他会計負担金)	63,855			
(2) 医業外収益	250,968			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	162,895			
(うち長期前受金戻入)	85,198			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,595,179			
2 経常費用	1,595,162			
(1) 医業費用	1,545,300			
職員給与費	955,671	72.0	55.7	72.6
材料費	149,497	11.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	50,221	3.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	81,855	6.2	11.0	5.6
減価償却費	178,680	13.5	9.0	11.1
経費	256,633	19.3	23.3	31.9
(うち委託料)	117,985	8.9	11.5	13.0
研究研修費	4,401			
資産減耗費	418			
(2) 医業外費用	49,862			
(うち支払利息)	5,479	0.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	17			
損益				
経常損益	-16,624			
純損益	-16,641			
累積欠損金	330,685			
経常収支比率	99.0		97.7	97.4
医業収支比率	85.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	14.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	84.7		85.7	74.2

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,036,782
1 固定資産	1,828,986
(1) 有形固定資産	1,760,803
(2) 無形固定資産	960
(3) 投資その他の資産	67,223
2 流動資産	207,796
(1) 現金及び預金	17,459
(2) 未収金及び未収収益	186,966
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,371
3 繰延資産	-
負債合計	1,729,281
1 固定負債	1,330,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,025,699
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	300,590
(7) リース債務	3,937
2 流動負債	287,633
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	183,052
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	54,893
(6) リース債務	695
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	42,765
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	111,422
(1) 長期前受金	527,326
(2) 長期前受金収益化累計額( )	415,904
資本合計	307,501
1 資本金	638,186
2 剰余金	-330,685
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-330,685
負債・資本合計	2,036,782
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	226,750	226,750
資本勘定繰入	94,285	94,285
計	321,035	321,035

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	軽井沢町
				病院名	国保軽井沢病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,442 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	79	77.9	78.7	72.7
療養	24	80.0	74.5	67.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	103	78.4	77.7	71.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	14.7	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	18,994	
決算規模(千円)	13,752,191	
標準財政規模(千円)	10,522,907	
財政力指数	1.66	
経常収支比率(%)	60.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,354,593			
1 経常収益	2,350,675			
(1) 医業収益	1,738,998			
入院収益	893,987			
外来収益	578,682			
診療収入計	1,472,669			
その他医業収益	266,329			
(うち他会計負担金)	145,900			
(2) 医業外収益	611,677			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	504,100			
(うち長期前受金戻入)	31,834			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,918			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,278,500			
2 経常費用	2,274,437			
(1) 医業費用	2,164,089			
職員給与費	1,102,250	63.4	55.7	61.3
材料費	280,936	16.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	104,404	6.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	149,468	8.6	11.0	8.2
減価償却費	92,077	5.3	9.0	10.2
経費	673,759	38.7	23.3	30.5
(うち委託料)	246,825	14.2	11.5	13.0
研究研修費	14,442			
資産減耗費	625			
(2) 医業外費用	110,348			
(うち支払利息)	34,393	2.0	1.4	1.6
(3) 特別損失	4,063			
損益				
経常損益	76,238			
純損益	76,093			
累積欠損金	504,489			
経常収支比率	103.4		97.7	96.5
医業収支比率	80.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	27.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	37.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	27.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	74.8		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,962,038
1 固定資産	2,283,126
(1) 有形固定資産	2,283,126
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	678,912
(1) 現金及び預金	466,513
(2) 未収金及び未収収益	193,311
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	19,088
3 繰延資産	-
負債合計	2,432,655
1 固定負債	1,478,335
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,428,331
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	50,004
(7) リース債務	-
2 流動負債	309,623
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	118,600
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,796
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	119,227
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	644,697
(1) 長期前受金	1,504,954
(2) 長期前受金収益化累計額( )	860,257
資本合計	529,383
1 資本金	525,143
2 剰余金	4,240
(1) 資本剰余金	505,429
(2) 利益剰余金	-501,189
負債・資本合計	2,962,038
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.6
修正医業収益(千円)	1,593,098

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	580,536	650,000
資本勘定繰入	82,970	5,535
計	663,506	655,535

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	辰野町
				病院名	辰野病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,882 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	85.1	84.7	83.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	85.1	84.7	83.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	20.1	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	19,770	
決算規模(千円)	8,676,225	
標準財政規模(千円)	5,686,089	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	82.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	21.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.2
修正医業収益(千円)	1,628,164

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,128,919			
1 経常収益	2,128,919			
(1) 医業収益	1,708,168			
入院収益	889,486			
外来収益	662,152			
診療収入計	1,551,638			
その他医業収益	156,530			
(うち他会計負担金)	80,004			
(2) 医業外収益	420,751			
(うち国・都道府県補助金)	5,180			
(うち他会計補助・負担金)	288,994			
(うち長期前受金戻入)	32,183			
(うち資本費繰入収益)	88,002			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,112,167			
2 経常費用	2,112,167			
(1) 医業費用	2,057,025			
職員給与費	1,161,628	68.0	55.7	61.3
材料費	227,095	13.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	115,815	6.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	84,459	4.9	11.0	8.2
減価償却費	202,273	11.8	9.0	10.2
経費	461,167	27.0	23.3	30.5
(うち委託料)	261,042	15.3	11.5	13.0
研究研修費	3,942			
資産減耗費	920			
(2) 医業外費用	55,142			
(うち支払利息)	1,389	0.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	16,752			
純損益	16,752			
累積欠損金	23,559			
経常収支比率	100.8		97.7	96.5
医業収支比率	83.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	17.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	83.3		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,055,337
1 固定資産	2,784,346
(1) 有形固定資産	2,719,980
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	64,366
2 流動資産	270,991
(1) 現金及び預金	43,234
(2) 未収金及び未収収益	213,559
(3) 貸倒引当金( )	3,869
(4) 貯蔵品	17,662
3 繰延資産	-
負債合計	2,531,018
1 固定負債	1,557,993
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,529,115
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,800
(7) リース債務	27,078
2 流動負債	405,098
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	150,675
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	74,957
(6) リース債務	16,132
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	63,334
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	567,927
(1) 長期前受金	774,824
(2) 長期前受金収益化累計額( )	206,897
資本合計	524,319
1 資本金	547,878
2 剰余金	-23,559
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-23,559
負債・資本合計	3,055,337
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	380,404	368,998
資本勘定繰入	99,131	98,002
計	479,535	467,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	信濃町
				病院名	信越病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,064 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	47	58.7	54.3	55.5
療養	50	81.5	80.7	81.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	70.3	67.6	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	15.6	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	8,469	
決算規模(千円)	5,422,636	
標準財政規模(千円)	3,635,585	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	25.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,378,592			
1 経常収益	1,378,291			
(1) 医業収益	1,058,204			
入院収益	608,042			
外来収益	326,533			
診療収入計	934,575			
その他医業収益	123,629			
(うち他会計負担金)	74,766			
(2) 医業外収益	320,087			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	252,868			
(うち長期前受金戻入)	55,862			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	301			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,406,919			
2 経常費用	1,406,919			
(1) 医業費用	1,370,974			
職員給与費	794,881	75.1	55.7	72.6
材料費	126,355	11.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	53,981	5.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,909	5.2	11.0	5.6
減価償却費	89,642	8.5	9.0	11.1
経費	355,735	33.6	23.3	31.9
(うち委託料)	142,101	13.4	11.5	13.0
研究研修費	2,491			
資産減耗費	1,870			
(2) 医業外費用	35,945			
(うち支払利息)	4,205	0.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-28,628			
純損益	-28,327			
累積欠損金	1,206,954			
経常収支比率	98.0		97.7	97.4
医業収支比率	77.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	23.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	31.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	23.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	74.7		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	796,335
1 固定資産	525,793
(1) 有形固定資産	523,847
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	1,800
2 流動資産	270,542
(1) 現金及び預金	82,901
(2) 未収金及び未収収益	182,159
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	5,482
3 繰延資産	-
負債合計	884,906
1 固定負債	622,953
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	267,019
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	355,934
(7) リース債務	-
2 流動負債	153,598
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	45,458
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,954
(6) リース債務	333
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	49,727
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	108,355
(1) 長期前受金	416,542
(2) 長期前受金収益化累計額( )	308,187
資本合計	-88,571
1 資本金	1,084,632
2 剰余金	-1,173,203
(1) 資本金剰余金	33,751
(2) 利益剰余金	-1,206,954
負債・資本合計	796,335
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	88,571
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.7
修正医業収益(千円)	983,438

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	327,634	327,634
資本勘定繰入	41,509	55,136
計	369,143	382,770

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	114.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	飯綱町
				病院名	飯綱町立飯綱病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,246 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	16	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	110	72.5	73.0	72.5
療養	51	84.4	83.6	81.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	76.2	76.3	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.7	21.2	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	11,063	
決算規模(千円)	8,296,969	
標準財政規模(千円)	4,748,811	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.0
修正医業収益(千円)	1,767,615

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,134,397			
1 経常収益	2,134,397			
(1) 医業収益	1,913,801			
入院収益	1,059,865			
外来収益	617,591			
診療収入計	1,677,456			
その他医業収益	236,345			
(うち他会計負担金)	146,186			
(2) 医業外収益	220,596			
(うち国・都道府県補助金)	180			
(うち他会計補助・負担金)	66,804			
(うち長期前受金戻入)	142,837			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,115,935			
2 経常費用	2,115,935			
(1) 医業費用	2,008,037			
職員給与費	952,864	49.8	55.7	61.3
材料費	232,860	12.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	97,709	5.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	106,463	5.6	11.0	8.2
減価償却費	157,262	8.2	9.0	10.2
経費	658,987	34.4	23.3	30.5
(うち委託料)	236,496	12.4	11.5	13.0
研究研修費	3,668			
資産減耗費	2,396			
(2) 医業外費用	107,898			
(うち支払利息)	34,216	1.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	18,462			
純損益	18,462			
累積欠損金	407,536			
経常収支比率	100.9		97.7	96.5
医業収支比率	95.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	90.8		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,557,921
1 固定資産	2,037,164
(1) 有形固定資産	2,012,363
(2) 無形固定資産	400
(3) 投資その他の資産	24,401
2 流動資産	520,757
(1) 現金及び預金	219,924
(2) 未収金及び未収収益	269,925
(3) 貸倒引当金( )	795
(4) 貯蔵品	30,471
3 繰延資産	-
負債合計	2,924,500
1 固定負債	2,137,763
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,840,395
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	297,368
(7) リース債務	-
2 流動負債	457,594
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	280,600
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	67,330
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	101,979
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	329,143
(1) 長期前受金	1,836,782
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,507,639
資本合計	-366,579
1 資本金	14,932
2 剰余金	-381,511
(1) 資本剰余金	26,025
(2) 利益剰余金	-407,536
負債・資本合計	2,557,921
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	366,579
資本不足額(繰延収益控除後)( )	37,436
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	212,990	212,990
資本勘定繰入	168,594	151,010
計	381,584	364,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	伊那中央行政組合(事業会計分)
				病院名	伊那中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	39,114 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	29	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	390	79.4	80.0	83.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	394	78.6	79.2	83.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.2	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.9
修正医業収益(千円)	11,727,494

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,698,161			
1 経常収益	12,690,476			
(1) 医業収益	12,120,117			
入院収益	7,831,846			
外来収益	3,285,303			
診療収入計	11,117,149			
その他医業収益	1,002,968			
(うち他会計負担金)	392,623			
(2) 医業外収益	570,359			
(うち国・都道府県補助金)	42,659			
(うち他会計補助・負担金)	400,926			
(うち長期前受金戻入)	43,055			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,685			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,439,698			
2 経常費用	13,436,223			
(1) 医業費用	12,903,281			
職員給与費	7,330,400	60.5	55.7	57.0
材料費	2,807,946	23.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,377,051	11.4	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,354,186	11.2	11.0	11.3
減価償却費	1,099,271	9.1	9.0	9.3
経費	1,602,071	13.2	23.3	22.1
(うち委託料)	888,420	7.3	11.5	11.1
研究研修費	50,742			
資産減耗費	12,851			
(2) 医業外費用	532,942			
(うち支払利息)	51,426	0.4	1.4	1.4
(3) 特別損失	3,475			
損益				
経常損益	-745,747			
純損益	-741,537			
累積欠損金	2,568,603			
経常収支比率	94.4		97.7	96.4
医業収支比率	93.9		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	6.2		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	88.5		85.7	85.3

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,588,956
1 固定資産	20,188,366
(1) 有形固定資産	16,258,346
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,930,020
2 流動資産	3,400,590
(1) 現金及び預金	1,492,387
(2) 未収金及び未収収益	1,849,406
(3) 貸倒引当金( )	1,619
(4) 貯蔵品	60,416
3 繰延資産	-
負債合計	13,451,583
1 固定負債	10,186,480
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,213,310
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,973,170
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,776,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,471,815
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	444,765
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	785,706
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	488,515
(1) 長期前受金	1,015,507
(2) 長期前受金収益化累計額( )	526,992
資本合計	10,137,373
1 資本金	12,705,976
2 剰余金	-2,568,603
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,568,603
負債・資本合計	23,588,956
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,000,442	793,549
資本勘定繰入	948,971	948,971
計	1,949,413	1,742,520

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	伊南行政組合
				病院名	昭和伊南総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,682 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	18	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	63.6	65.0	66.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	63.6	65.0	66.1
平均在院日数（一般病床のみ）		14.3	13.5	14.3

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	293,452	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	93.2
修正医業収益（千円）	6,364,331

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,130,890			
1 経常収益	7,129,127			
(1) 医業収益	6,539,964			
入院収益	3,878,522			
外来収益	2,025,465			
診療収入計	5,903,987			
その他医業収益	635,977			
(うち他会計負担金)	175,633			
(2) 医業外収益	589,163			
(うち国・都道府県補助金)	9,457			
(うち他会計補助・負担金)	374,103			
(うち長期前受金戻入)	188,145			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,763			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,899,874			
2 経常費用	6,899,874			
(1) 医業費用	6,826,017			
職員給与費	3,565,190	54.5	55.7	57.0
材料費	1,836,856	28.1	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,093,106	16.7	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	696,695	10.7	11.0	11.3
減価償却費	317,716	4.9	9.0	9.3
経費	1,066,296	16.3	23.3	22.1
(うち委託料)	527,278	8.1	11.5	11.1
研究研修費	16,198			
資産減耗費	23,761			
(2) 医業外費用	73,857			
(うち支払利息)	6,484	0.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	229,253			
純損益	231,016			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.3		97.7	96.4
医業収支比率	95.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	95.4		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	7,657,398
1 固定資産	3,432,073
(1) 有形固定資産	3,392,826
(2) 無形固定資産	1,487
(3) 投資その他の資産	37,760
2 流動資産	4,225,325
(1) 現金及び預金	3,177,015
(2) 未収金及び未収収益	1,000,220
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	48,090
3 繰延資産	-
負債合計	4,985,409
1 固定負債	3,215,139
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,600,073
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,615,066
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,380,941
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	423,448
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	213,164
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	716,412
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	389,329
(1) 長期前受金	3,643,158
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	3,253,829
資本合計	2,671,989
1 資本金	35,118
2 剰余金	2,636,871
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,636,871
負債・資本合計	7,657,398
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	549,736	549,736
資本勘定繰入	157,173	157,173
計	706,909	706,909

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	諏訪中央病院組合
				病院名	組合立諏訪中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,414 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	324	89.9	89.2	89.7
療養	36	94.0	93.3	95.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	90.3	89.6	90.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.5	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,951,460			
1 経常収益	9,948,344			
(1) 医業収益	9,112,408			
入院収益	5,655,066			
外来収益	2,988,685			
診療収入計	8,643,751			
その他医業収益	468,657			
(うち他会計負担金)	7,506			
(2) 医業外収益	835,936			
(うち国・都道府県補助金)	26,862			
(うち他会計補助・負担金)	242,557			
(うち長期前受金戻入)	85,145			
(うち資本費繰入収益)	285,945			
(3) 特別利益	3,116			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,846,053			
2 経常費用	9,810,151			
(1) 医業費用	9,334,137			
職員給与費	5,117,669	56.2	55.7	57.0
材料費	1,930,713	21.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	893,010	9.8	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	950,966	10.4	11.0	11.3
減価償却費	650,079	7.1	9.0	9.3
経費	1,518,559	16.7	23.3	22.1
(うち委託料)	611,124	6.7	11.5	11.1
研究研修費	37,777			
資産減耗費	79,340			
(2) 医業外費用	476,014			
(うち支払利息)	55,594	0.6	1.4	1.4
(3) 特別損失	35,902			
損益				
経常損益	138,193			
純損益	105,407			
累積欠損金	1,489,000			
経常収支比率	101.4		97.7	96.4
医業収支比率	97.6		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	2.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	2.7		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	2.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	98.9		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,823,578
1 固定資産	11,604,650
(1) 有形固定資産	11,436,801
(2) 無形固定資産	1,899
(3) 投資その他の資産	165,950
2 流動資産	2,218,928
(1) 現金及び預金	677,283
(2) 未収金及び未収収益	1,502,338
(3) 貸倒引当金( )	5,322
(4) 貯蔵品	44,629
3 繰延資産	-
負債合計	11,965,252
1 固定負債	9,690,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,799,511
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,868,579
(7) リース債務	22,528
2 流動負債	1,749,601
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	532,998
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	252,790
(6) リース債務	10,521
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	911,177
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	525,033
(1) 長期前受金	901,697
(2) 長期前受金収益化累計額( )	376,664
資本合計	1,858,326
1 資本金	3,262,684
2 剰余金	-1,404,358
(1) 資本金剰余金	84,642
(2) 利益剰余金	-1,489,000
負債・資本合計	13,823,578
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.5
修正医業収益(千円)	9,104,902

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	581,242	250,063
資本勘定繰入	350,632	385,945
計	931,874	636,008

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	依田窪医療福祉事務組合
				病院名	国保依田窪病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,027 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	140	59.8	64.2	61.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	59.8	64.2	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	18.0	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	30,722	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	100.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.5
修正医業収益(千円)	2,119,502

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,589,911			
1 経常収益	2,589,911			
(1) 医業収益	2,199,033			
入院収益	1,455,205			
外来収益	531,148			
診療収入計	1,986,353			
その他医業収益	212,680			
(うち他会計負担金)	79,531			
(2) 医業外収益	390,878			
(うち国・都道府県補助金)	2,222			
(うち他会計補助・負担金)	356,042			
(うち長期前受金戻入)	6,522			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,734,913			
2 経常費用	2,727,892			
(1) 医業費用	2,602,107			
職員給与費	1,445,856	65.7	55.7	61.3
材料費	326,352	14.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	125,436	5.7	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	180,447	8.2	11.0	8.2
減価償却費	146,829	6.7	9.0	10.2
経費	677,488	30.8	23.3	30.5
(うち委託料)	174,329	7.9	11.5	13.0
研究研修費	5,582			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	125,785			
(うち支払利息)	33,719	1.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	7,021			
損益				
経常損益	-137,981			
純損益	-145,002			
累積欠損金	2,057,182			
経常収支比率	94.9		97.7	96.5
医業収支比率	84.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	19.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	16.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	79.0		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,523,082
1 固定資産	2,969,177
(1) 有形固定資産	2,872,467
(2) 無形固定資産	479
(3) 投資その他の資産	96,231
2 流動資産	553,905
(1) 現金及び預金	156,088
(2) 未収金及び未収収益	362,768
(3) 貸倒引当金( )	1,519
(4) 貯蔵品	30,238
3 繰延資産	-
負債合計	2,277,904
1 固定負債	1,826,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,683,098
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	38,191
(7) リース債務	1,286
2 流動負債	451,787
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	192,012
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,056
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	167,089
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	1,245,178
1 資本金	88,558
2 剰余金	1,156,620
(1) 資本剰余金	3,213,802
(2) 利益剰余金	-2,057,182
負債・資本合計	3,523,082
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	358,307	435,573
資本勘定繰入	119,077	119,077
計	477,384	554,650

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。